

**2021 年度 Ritsumeikan Advanced Research Academy (RARA) 学生フェロー
(立命館先進研究アカデミー次世代研究者育成プログラム) 募集要項**

1. 「Ritsumeikan Advanced Research Academy (RARA) 学生フェロー (立命館先進研究アカデミー次世代研究者育成プログラム)」の目的

立命館大学は、2030 年代にグローバル社会で通用する新たな社会共生価値を提起する次世代研究大学の確立を目指しています(「学園ビジョン R2030 立命館大学チャレンジ・デザイン」より)。その実現に向けた中核構想として、未来社会に貢献する新しい研究分野の創出を目指す『Ritsumeikan Knowledge Nodes (RKN)』があります。Nodes とは結合点を意味し、海外の大学・研究機関等との継続的なパートナーシップの構築を通じて、国際的なネットワークにおいて本大学が重要かつユニークな知の Nodes の役割を果たすことで、世界水準の研究・教育の展開を目指しています。

その具体的施策として、「立命館先進研究アカデミー」(以降、「RARA」)を設置し、大学院生を含む若手研究者から本大学を牽引する中核研究者までの研究者のキャリアパスに応じた研究環境の抜本的充実を図ることとしました。本プログラムは、本大学中核研究者の指導を受ける博士後期課程学生のうち、特に優秀な学生を RARA 学生フェローとして選抜・認定を行った上で、育成支援を行うプログラムです。

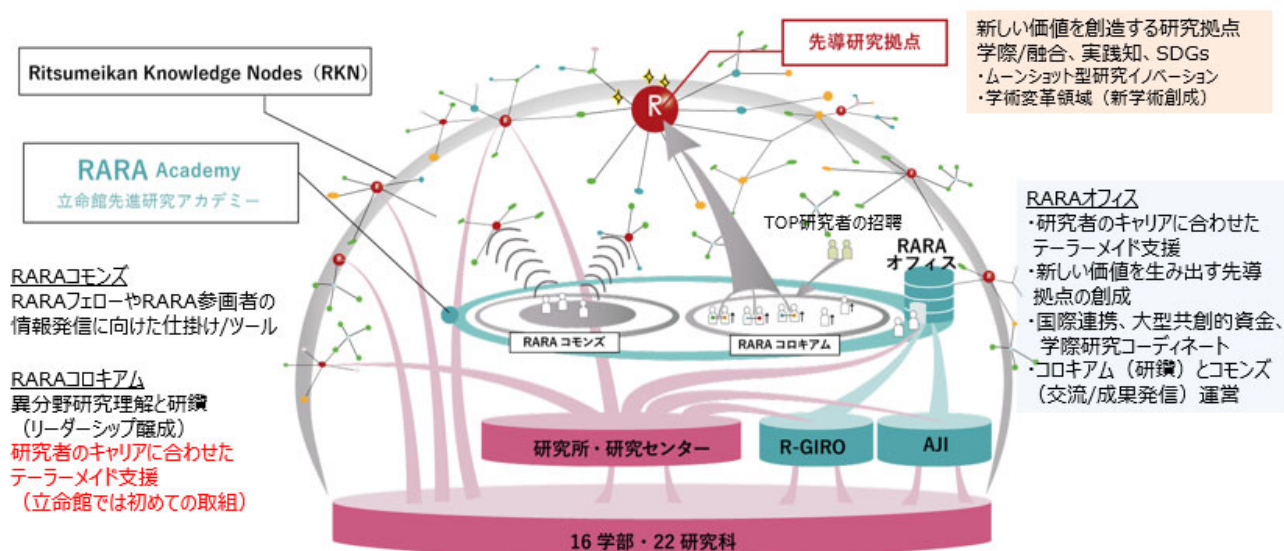
RARA 学生フェローとして選抜された博士後期課程学生には、高い研究力を持つ指導教員と共に RARA に参画し、個々の研究力を向上させ、分野の異なる国内外の研究者と交わる中で、国際性と学際性、さらに複眼的視野を兼ね備えた国際社会で活躍できる資質と能力を備えた博士人材へと成長していくことを目指します。

なお、本プログラムは、JST(国立研究開発法人科学技術振興機構)「次世代研究者挑戦的研究プログラム」の採択を受け、2021 年度より実施するものです。

2. Ritsumeikan Advanced Research Academy (RARA) とは

Ritsumeikan Advanced Research Academy (RARA)(立命館先進研究アカデミー)とは、RKN 構想を実現し、本大学の先導的・先進的研究拠点の形成に向けてリーダーシップを発揮することが期待される中核研究者の集まり(アカデミー)のことです。RARA を基盤にする研究者は、本大学の核となり他の研究者を巻き込み、先進研究の推進に取り組みます。

RARA は、本大学の先進研究を牽引する中核研究者である「RARA フェロー」、中核研究者へのステップアップに向け実績を積み重ねる「RARA アソシエイトフェロー」、次世代の研究者として活躍が期待される「RARA 学生フェロー」から主に構成されます。



RARA フェローらの支援には、RARA アドバイザーおよび RARA オフィスがテラーメイドでのサポートを行います。研究時間の確保と研究環境の向上に加え、異分野の研究者との交流・研鑽の機会の提供（RARA コロキウム）を通じて、研究プロジェクトを構想・企画・牽引するマネジメント能力（リーダーシップ）の伸張に注力していきます。

RARA には、RARA フェロー同士の融合や他大学・他研究機関との連携を通じて、新たな価値を生み出す先進的な学際研究拠点の創成に結びつける役割を担う狙いもあります。互いに異分野の研究を理解し、それらを融合した新たな研究分野、学際領域を創造することで、世界と伍する先進研究拠点の早期実現を目指します。

3. 「Ritsumeikan Advanced Research Academy (RARA)」の理念

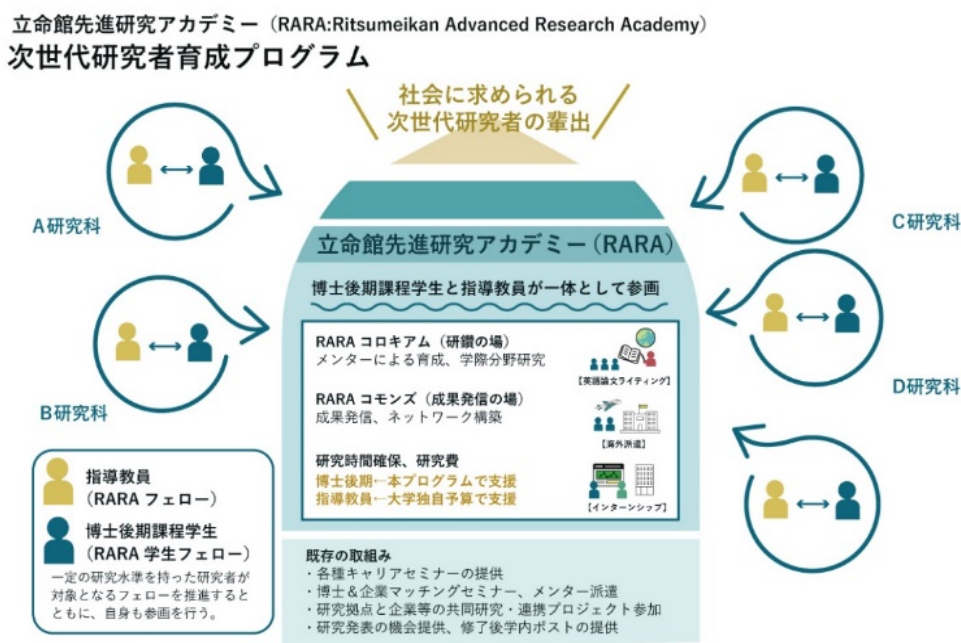
「Ritsumeikan Advanced Research Academy (RARA)」(立命館先進研究アカデミー)は、新たな価値を生み出す先進的な学際研究拠点を創成するとともに、その成果を発信し、社会課題解決に向けた貢献を目指します。

新たな価値を生み出す次世代研究大学に向けて、個々の研究者のキャリアや目標に適したテラーメイドによる研究環境の構築を図る RARA は Ritsumeikan Knowledge Nodes (RKN) を活性化の基盤となるとともに、立命館大学の研究を牽引し、新領域を切り拓く独創的な研究に挑戦する先進的研究を育成します。

4. 今次募集する RARA 学生フェローについて

RARA 学生フェローは RARA の構成員として、将来を担う若手研究者として必要とされる力量形成に繋がる機会が与えられます。例えば、研究者として求められる知識・情報を獲得するセミナーや、自身の研究分野以外の研究者、博士後期課程学生と交流・連携を通じて切磋琢磨する場の提供（RARA コロキウム）や、研究成果発信の場として、学内外の研究者や企業関係者等とのネットワークの構築と自身のプレゼンテーションスキルの向上を目的とした研究成果を積極的に発表する機会（RARA コモンズ）が設けられます。本プログラムの推進事務局である RARA オフィスは RARA 学生フェローに対してメンターを配置し、RARA 学生フェローが自身の成長を実感できるように適切な指導・アドバイスを行います。

また、RARA 学生フェローには、研究活動支援金として月額 18 万円の研究奨励費（年額 216 万円の生活費相当額）および研究費として年額 34 万円が大学から支給される予定です。



5. 募集内容

申請は、博士後期課程学生から受け付けます。申請にあたっては、指導教員からの推薦が必要です。

募集人数	45 名（最大） D1：15 名以内、D2：15 名以内、D3・D4（4 年制博士課程）：15 名以内
応募資格	以下の（１）（２）（３）の全ての条件を満たしていること。 （１）指導教員からの推薦を得ている者（要推薦状・様式有）。 （２）以下のいずれかに該当する者。 ・ 博士課程後期課程の第 1～3 年次相当(在学月数 12 ヶ月未満)に在学する者 ・ 一貫制博士課程第 3 年次相当(在学月数 24 ヶ月以上 36 ヶ月未満)～5 年度に在学する者 ・ 4 年制博士課程の第 1 年次相当（在学月数 12 ヶ月未満）～第 4 年次相当に在学する者 （３）2021 年 4 月 1 日時点で、30 歳未満であること。ただし、出産・育児等ライフイベントを経た者については、個別の事情に応じ、1～2 年程度、上記の年齢要件について配慮する。 ただし、既に別事業により支援を受けている場合や本大学から生活費相当額を支給されている学生は除きます。申請にあたって対象外となる条件等について不明な点がある場合には、事前に事務局まで確認ください。 〔対象外となる例〕 文部科学省国費留学生、外国政府奨学金受給者、日本学術振興会特別研究員、併給不可の奨学金受給者、立命館大学 NEXT フェローシップ・プログラム受給者等
採用期間	2021 年 11 月を開始月として、標準修了年限までの期間を支援する。 （例）2021 年度 D1 の場合：2021 年 11 月 1 日～2024 年 3 月 31 日 2021 年度 D3 の場合：2021 年 11 月 1 日～2022 年 3 月 31 日
採用後の注意点について	① 標準修業年限内に修了すること。 ② RARA 学生フェローとしての自覚と責任を持ち研究活動に取り組むこと。 ③ RARA コロキウムおよび研究部が主宰するプログラム、セミナー等に参加すること。 ④ 本大学および附属校が企画する公開講座・イベント等において、講義および研究成果の発表を行うこと。 ⑤ メンターによる面談を受けること。（※採用期間中は毎年度行います） ⑥ 研究成果は研究業績システムの随時登録を行うこと。 ⑦ 活動の報告として自己評価レポートを提出すること。 （毎年度末のレポートをもって、次年度の継続審査を併せて行います。） ⑧ 別に定められた誓約書等の書類を指定の期日までに提出すること。

【留意事項】

2021 年度においては、RARA のスタートアップ期間と位置付け、上記の条件による募集としています。本プログラムは 2022 年度および 2023 年度も募集を行う予定ですが、RARA に参画する研究者（RARA フェロー等）の指導を受ける博士後期課程学生を優先した上で、全学募集を予定しています。

6. 募集・審査スケジュール（予定）

募集開始	2021 年 9 月 27 日（月）
申請書類の提出締切	2021 年 10 月 13 日（水）17：00
書類審査	2021 年 10 月 15 日（金）～10 月 27 日（水）
採択者への通知	2021 年 11 月 2 日（火）

7. 審査について

(1) 審査委員会

副学長を委員長とした立命館先進研究アカデミー次世代研究者育成プログラム審査委員会を設置し、委員会の構成は委員長が指名する学内有識者から構成します。評価項目に基づき、書面審査を行います。採否は審査委員会の審査結果に基づき決定します。

(2) 審査プロセス

- ① 申請書類提出
- ② 書類審査
- ③ 採否決定（研究委員会での報告）

(3) 審査のポイント

推薦する博士後期課程学生のこれまでの学業および研究活動の具体的な経験を踏まえ、以下の4つの観点から審査を行います。

- 〔観点1〕 RARA 学生フェローへの志望動機
- 〔観点2〕 これまでの研究活動を踏まえた自身の研究遂行能力
- 〔観点3〕 研究計画の適切性と今後の発展性
- 〔観点4〕 研究者の将来目標と本プログラム目的との合致

8. 申請手続き

(1) 申請期間

2021年9月27日（月）～10月13日（水）17：00

(2) 申請書類

- ① 申請調書（申請を行う博士後期課程学生が作成）
- ② 推薦書（申請を行う博士後期課程学生を指導する指導教員が作成）

(3) 申請上の留意点

申請にあたっては、①②の申請書類をPDF化して提出してください。

なお、申請者（博士後期課程学生）からのメール提出のみ受け付けます（持ち込み、郵送は不可）。

9. 提出先・問い合わせ先

提出先、問い合わせ先：rara@st.ritsumeai.ac.jp

問い合わせ先：RARA オフィス（担当：岡本）

内線：510-2400、外線：075-813-8199

※ 申請にあたっての問い合わせは、なるべくメールでお願いいたします。

Ritsumeikan Advanced Research Academy (RARA) 学生フェロー
(立命館先進研究アカデミー次世代研究者育成プログラム) FAQ

Q1. 申請は指導教員の推薦を得ている必要があるか？

A1. 博士後期課程学生を指導する指導教員の推薦を得る必要があります。本プログラムは RARA 学生フェローとして、個々の研究力を向上させ、国際社会で活躍できる資質と能力を備えた博士人材へと成長していくことを目指しています。そのために、RARA コロキウムが主宰するプログラムの参加や、研究成果発信の一環として、附属校等でのセミナー実施等を RARA 学生フェローのオブリゲーションとしています。博士後期課程学生自身の研究活動と並行して、RARA 学生フェローとしての責務を果たしていくことを求める観点から、指導教員から事前に本プログラムへの参画にあたっての推薦と了承を求めています。

Q2. 応募資格に「既に別事業により支援を受けている場合や本大学から生活費相当額を支給されている学生は除く」とあるが、具体的にどの事業での支援を受けていると、本プログラムに応募ができないのか。

A2. 可能な限り多くの博士後期課程学生に対して、公平な支援を行う観点から、例示している事業等での支援を受けている学生については、本申請の対象外となります。自身が受給している支援が対象となるのかが不明である場合は、申請前に事務局にお問い合わせください。

Q3. リサーチアシスタント (RA) として勤務しているが、本プログラムに応募できるのか。

A3. 研究部所管のリサーチアシスタント (RA) として勤務している場合でも、本プログラムへの応募は可能です。ただし、「応募資格」で例示している事業等で支援を受けていないことが条件となりますので、事前にご確認ください。ただし、教学部所管の教学 RA は応募することが出来ません。

Q4. 2021 年 9 月に入学する学生は、本プログラムに応募することが出来るのか。

A4. 2021 年度募集においては申請可能です。

Q5. 「立命館大学外国人留学生授業料減免」規程による授業料減免を受けている留学生は申請することが可能か。

A5. 申請可能です。

Q6. 【指導教員向け】自身が指導する複数の学生を推薦しても良いか。

A6. 可能です。

複数名の学生の推薦について制限は設けておりません。